

2023 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 地球や

代表者・役職名 氏名 会長 佐久間 恵子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

国際交流イベントに参加して世界と手をつなごう

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

設立当初は、三世代交流、地域交流を目指していたが、平日の活動だったためか、高年齢層の人中心となってしまった。地域交流は1桁台の参加人数から50名以上の参加まで上昇し、地域密着となった。しかし、三世代交流とまではいかなかったため、子供達の語学学習の場や工場で働く外国人に多摩地区の良さを知ってもらいたい、横田基地も近いので、国際交流も出来ないかと考え、三ツ藤地区を中心に三世代、国際交流を行い、高齢者の見守りを含めた、地域活性化を図るため団体名を変更し、現在は、国際交流を中心に、武蔵村山市協働事業まで行う団体にまで成長した。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

いろいろな国や多摩地域の文化を知って、知らない世界を分かり合える世界に変えることで、多摩地域と世界を結ぶ。このイベントを通じて、音楽、料理、文化を教え合おう。コロナ禍で海外にもなかなか行けないので、身近な地域で世界を知り、視野を広げよう。そして、改めて、多摩地域の良さとは何かを知ろう。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

世界と手をつなぐイベントを開催。(100人収容できる自治会館または地域ホール使用予定)
開催地にもよるが、自治会集会室でのコンサートは40名~50名参加可能。同日開催の料理教室10名位(コロナ時6名位の参加歴あり)スポーツ参加30名程度の見込み。
外国籍の人10名以上参加を目指す(講師除く)
夏休みスペシャル企画として子供達、留学生にも参加してもらおう!ということで、7月か8月の夏休み期間を予定。
・アフリカ打楽器を聴くだけでなく、手拍子や持参の物で参加
・国についての話、言葉の文化交流
・ヨガや欧米式サッカー体験でスポーツ交流。
・外国料理教室、プチ語学講座。
・地域の野菜販売や、すいとん販売で多摩地区の郷土料理を通じて文化交流。
・海外ボランティア、留学の体験談 等

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「結果」1日限りのイベントだったが延べ300名超の参加者による大規模イベントとなった。「成果」日本の古き良き文化である盆踊り、ヨガ、ダンスや音楽、英語教室、料理教室をはじめ、キッチンカー等多方面の方による参加、スリランカ、ネパール、フランス等一部の国ではあるが食を通じて一体感を得られた。また、地域でも顔見知りを作ることで今後も触れ合う場を作ることが出来た。「社会的な変化」外国籍の人、障害者、地域の人がイベント、特に盆踊りでひとつの輪になって踊ることで、ここからまた新たなコミュニティの醸成が出来た。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

このプロジェクトを通じて多摩地区の外国人と気軽にふれあい、一緒に楽しみながら世界の文化を知ることが出来る交流イベントを実行することができた。世界の衣食住に触れながら、知らなかった多摩地域の歴史や文化の再発見することができた。盆踊りや海外の食事や文化を通じて、地域を活性化し、障害者、外国籍の人、地域の人が一体となって明るい街づくりを目指すことが出来た。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。